長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2024 MARCH VOL.422

発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



令和5年度第52期臨床研修医修了式が3月22日（金）に執り行われました。
臨床研修修了おめでとうございます！！

院長退任のご挨拶
定年退職を迎えて
臨床研修修了報告

TOPICS
・令和5年度サイバー攻撃対応訓練を終えて
・医師人事異動（転出）

人生100年時代の予防医療
第7回　大腸がん検診
院内さるく Vol.14 栄養管理室
ガーデニングだより　Vol.12
外来診療担当医一覧

長與 專齋（1838年～1902年）
大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも專齋である。專齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

院長退任のご挨拶

八橋　弘



令和6年3月末で長崎医療センター院長を退任することになりました。私は、当院には36年前に赴任し、12年前に臨床研究センター長、5年前に副院長、2年前に院長に就任しました。

私が副院長に就任して1か月たった時に、多剤耐性菌の院内感染の問題が発生しました。想像以上に強固に残存し、執拗に再発する菌でした。これが制御できなければ病院機能の全面停止にまで発展するかもしれないと、夜も眠れないほど心配した時もありました。しかし、長崎大学病院と感染研の先生方にご指導いただきながら、全職員が基本的な感染対策を実行することにより、数年がかりで制御することができました。私の36年間の病院勤務の中で、この多剤耐性菌の院内感染が当院にとって最も危機的な出来事であったと思っています。

副院長2年目に新型コロナ感染症が世界で猛威を振るうようになりました。私は「感染源、感染経路、宿主」という感染成立の3原則に沿って多層的にコロナの院内感染対策を考え、実行にうつしました。私の提案に対して、職員の皆さんは十分な理解を示され全面的に協力いただきました。その一方で、私はコロナ流行時の職員の行動制限については、流行の状況に応じてまめに加減調節をおこないながら、基本的には緩めの行動制限、行動指針となるように心がけました。また、例外ルールを設けて職員が窮屈にならないように、いつでも会いたい人に会えるようにしました。院内の患者さんとその御家族に対しても同様の運用をおこない、人生で大切な時を失うことがないように配慮しました。

院長に就任してからは、診療の質の向上、病院経営の安定化を心がけるとともに、職員が働きやすい病院を目指しました。「患者を守る、地域住民を守る、職員を守る病院」「お互いをリスペクトし、助け合う文化の醸成」「人が集う病院、多くの人の夢をかなえる病院、夢ホスピタル」「原因は追究するが、個人の責任は問わない」「大切なことは確保した病床の数ではなく、それに対応できる人の数である」「病院は建物や機器ではなく、病院職員と患者さんで成り立っている」「病院を彩るのは看護師」など

は、今までの経験から自然と生まれた私の言葉です。

病院が目指していること、病院が抱えている問題、そして院内の出来事で嬉しかったことや楽しかったことなども職員全員で共有するために、私は副院長の時から職員一斉メールを活用してきました。メール内容の多くは、職員の皆さんへの伝達、理解と協力のお願いであったと思います。メールは、長い説明文よりも図や表と映像や写真を用いた方が良く伝わると考えました。廊下ですれ違う時に職員一斉メールで流した写真について褒めていただくことがあり、とても嬉しく思っています。また院長2年目には院内広報誌SENSAIに「院長コラム」の連載を始めました。医師としての経験、その時々に感じたことなど、少し情緒的な内容についても投稿しました。「院長コラム」は院外の方からも、葉書やメール、声かけなどで読後の感想を寄せていただきました。

「院長コラム」の内容は、もう少し準備していたのですが、4月から長崎県病院企業団に異動することになりました。私は、長崎県で急速に進む人口減少と少子高齢化問題に対処する為には、今の時代に即した医療改革が必要であり、そして医療施設間の連携と機能分担が益々大切になると考えています。連携と機能分担については、コロナ流行期に県央地域で実行できたことをモデルに考えています。企業団では、長崎県の医療の在り方について、より広く、より深く、考えてゆきたいと思います。そして長崎県の医療を論じる時に核となる病院は、これまでも、これからも「長崎医療センター」であると考えています。

最後に、この36年間の私の医師人生を支えていただいた長崎医療センターの多くの職員の方々に深く感謝しています。有難うございました。



退任の日を職員一同でお祝いしました。

定年退職を迎えて

緩和ケアチーム 濵脇 正好

大村での23年5か月を振り返って

2000年11月心臓血管外科医長として当時の国立長崎中央病院へ赴任して早いもので23年が過ぎました。当時の写真をみると40歳になったばかりですから当然ですが若いですね。今回無事定年退職できるのも私のわがままを聞いていただいた多くの先生方、スタッフならびに関係各位のみなさまのおかげです、心から感謝します。この23年間余りの時間はあっという間に過ぎた気持ちもありますがなかなか中身の濃い23年だったと感じています。この間、臨床以外の部門でも数多くのイベントに参加させていただきました。



赴任当時

【以下抜粋】

○ 新病院への移転（2001年9月）と医療安全部会の設立・参加（初代メンバー）
○ 電子カルテ導入（2004年）と更新（2009年、2014年、2021年）
○ 病院機能評価認定（2005年）：NMCマニュアル手帳編集
　病院機能評価更新（2010年、2015年、2020年）
○ 診療情報管理室長（2005年11月）：年報（診療業績集）編集（2005年～）
　がん登録室長併任（2011年4月）：腫瘍集計報告編集
○ DPC運用開始（2006年7月1日～）
○ 診療報酬管理運営部長（2014年4月～）
○ 医科特定共同指導受審（2016年11月）などいろいろありました。そして2019年1月から私の希望で緩和チームへ加えていただき、3月で定年を迎えます。

昨今の働き方改革など難しい問題が山積していますが長崎県民が安心して過ごせるように長崎医療センターのみなさまにはさらなるご発展を期待しています。私も微力ながらできることがありましたら協力したいと考えております。長い間ありがとうございました。



事務部長 大門 勇作

退職のあいさつ

時の流れは速いもので、定年退職の原稿を依頼される時が来てしまいました。

38年前に世間知らずの学生が就職活動をやりたくない気持ちから何となく公務員試験を受け、運よく合格し国民全体の奉仕者である国家公務員として働くことになりました。

当時は何をするにしても夢と希望に満ち溢れていたように思いますが、採用当日から診療報酬請求業務で深夜におよぶ超過勤務をこなした結果、あっという間に20キロ以上太ってしまいました。超過勤務時間の上限がなく、ごくわずかな予算範囲でしか手当も支給されない暗黒の時代でしたが、振り返ればそれなりに充実し楽しく過ごしていたように思います。

28歳の時に給食係長、48歳の時に企画課長、58歳で事務部長として合計3回も長崎医療センターで勤務させて頂きました。いい思い出ばかりではありませんが、楽しく充実した時間をとても多く過ごさせて頂きありがとうございました。

今後も、九州・長崎を代表する病院として君臨し続けることを期待します。大変お世話になりました。



治療検査センター **福本 明美**

退職のあいさつ

とうとうこの時が来ました。これまでたくさんの方からのご指導、ご支援こころから感謝申し上げます。退職に際しては、多方面の方々からお声をかけていただき、嬉しい限りです。申し訳ないような、恥ずかしいような、寂しいような複雑な気持ちです。

最後の3年間でしたが、長崎医療センターで勤務できたことは幸せでした。これからの人生もわたしらしく歳を重ねていきます。みなさまのご活躍をお祈りいたします。



治療検査センター **伊東 ますみ**

定年を迎えて

長崎医療センターに勤務して39年の月日が流れ、多くの方々に巡り会いました。ご指導頂き、支えになってくださった皆様に感謝いたします。

新病院建設を前に、2000年に病院の理念が作成されましたが、覚え易くする為に歌詞に楽曲が作られていました。神経内科の森正孝先生、奥様は看護学校の音楽教師もされており、夫婦のお陰で出来上がったものです。私はこの歌のお陰で理念を覚える事が出来ました。この理念の歌が、後の記憶に引き継がれる事を祈っています。お世話になりました。



9B看護師 **川原 由里子**

定年を迎えて

「大村は住みやすいかなあ」と母はよく言っていました。高校卒業後、この大村に来て、看護学校時代を含め 40 年余り、この病院にお世話になりました。悲しかった事、嬉しかった事、楽しかった事、ヒヤリハット、全てが私の財産です。私を育ててくれた患者さん、スタッフの皆さん、そして家族の我慢と協力に心から感謝しています。

「その人がその人らしく」の看護理念のもと、患者さんの「ありがとう」を糧に頑張ってきました。これからは私が私らしく、無理せず、楽しく、恩返し、恩送りをしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

2年間を振り返って

～臨床研修修了報告～





2年間の初期臨床研修を終え、
医師としてそれぞれが専門分野を
定めて歩き始めるスタート地点に
立ちました。



入職当初はほとんど何も分からず不安がいっぱいでしたが、医療スタッフや指導医の先生方、同期がいてくれたおかげで無事研修を終えることができました。2年間ありがとうございました。

池田 真比人



2年間お世話になりました。右も左も分からない状態から始まった研修医生活でしたが、この2年間で確かな成長を感じることができました。教育熱心な指導医の先生方をはじめ、多くのコメディカルの方や教育センターの皆さんにも大変お世話になり、感謝申し上げます。来年からは専攻科の医師としてこれまで以上に気を引き締めて頑張ります。

梶原 優介



たくさんの方にお世話になりました。いつも声をかけていただき、フィードバックをもらい、楽しい研修生活を送ることができました。学んだことを精一杯活かして放射線科医として頑張ります。また、きついときも同期23人がいたから乗り切ることができました。本当にありがとう。

石井 青



2年間大変お世話になりました。苦しむことも多々ありましたが、多くの方々に助けていただきとても充実した初期研修を送ることができました。来年以降は一層の責任感を持ち診療にあたります。ありがとうございました。

門田 優太



2年間長崎医療センターで初期研修させていただき、誠にありがとうございました。様々な先生や多職種の方、患者さんに色々と教えてもらい、学びの大きい2年間となりました。これらの経験をいかし、今後の診療も励んでいければと思っております。ありがとうございました。

石飛 俊介



2年間大変充実した研修でした。ご指導いただいた各診療科の先生方や教育センターの方々、事務の方々に感謝申し上げます。また、愉快で個性的な同期23人に出会えて良かった!ありがとう。これから立派な医師になれるよう頑張ります。

門松 英



臨床の現場に足を踏み入れ、最初は初めてのことで不安なことばかりでしたが、多くの方々に支えていただきながら、無事に研修を終えることができました。まだまだ未熟ではございますが、精進し続けて参りたいと思います。二年間本当にありがとうございました。

小川 紗智



多くの方々の支えもあり、2年間の初期研修を無事に修了することができました。この研修で学んだことを忘れず、今後の診療に活かしていけるよう精進して参ります。本当にありがとうございました。

髙濵 健太



日々、学ぶことの連続で、研修医生活は瞬く間に終わったように感じています。尊敬する先生方や先輩、優しい同期と出会い、医師としての最初の2年間を共に過ごすことができたことは私の一生の宝です。先生方に教わった身体診察や仕事への姿勢を土台に今後より一層精進してまいります。ありがとうございました。

小松 桃子



自分の研修は、国家試験合格後から気の緩み切った状態でスタートした。しかし日々先生方や看護師さんなどとの関わりで徐々に軌道修正され、医師として少しは成長できたと思う。日々の臨床や学会の指導をして頂いた先生方をはじめ、二年間で関わった全ての方々に感謝しています。二年間楽しく実りあるものとなりました。

武内 健祐



入職時にはまだ右も左もわかりませんでしたが、優しい先生方や気の合う研修医のみんなのおかげで多くのことを学ぶことができました。今後も頑張りたいと思います。2年間本当にありがとうございました!

近藤 孝憲



たくさんの人に支えられ、成長できた2年間でした。素晴らしい同期に恵まれ、スタッフの方々や患者さんからはいつも温かいことばをかけていただきました。4月からは救命救急の道に進みます。ここで学んだことや感謝の気持ちを忘れず、今後も精進して参ります。本当にありがとうございました。

堤 春菜



この2年間を振り返るとご熱心な先生方や優しいコメディカルの方々、職員さんに囲まれて充実した研修を行うことができ、あっという間でした。この環境から離れるのは寂しいですが、長崎医療センターで学んだことを忘れずに来年度からも頑張っていきます。2年間ありがとうございました。

塩塚 高史



2年間お世話になりました。ご指導いただいた先生方やコメディカルの方に支えていただき、学びの多い研修となりました。この研修で学んだことを忘れず、今後より一層精進していきたいと思います。ありがとうございました。

中野 颯斗



generalな視点の涵養に重きを置いた研修を経験した事は、今後の医師人生における大きな糧になると思います。4月からは九大病院脳神経内科で後期研修を始めます。当院で学んだことを礎に、日々精進して参りたいと思います。2年間誠にありがとうございました。

篠原 葉瑠希



多くの方に支えていただいたおかげで研修を終了することができました。医師としての最初の2年間はできないことばかりで自らの不甲斐なさを感じる毎日でした。それでも先生方には熱心にご指導いただき、様々な経験ができました。この経験を活かして精進して参ります。ありがとうございました。

濵﨑 創平



先生方や先輩後輩、同期、スタッフの方々に支えられて、とても良い2年間の研修生活を過ごすことができました。医師としても人間としても大きく成長できたと思います。これからも初心を忘れずにより一層精進していきます。本当にありがとうございました。

福田 裕大



2年間大変お世話になりました。初期研修医としての2年間、本当に多くの方々に支えていただきながらなんとか研修を終えることができました。この研修で学んだことを糧に、来年度以降も後期研修医として一生懸命働こうと思います。ありがとうございました。

野々村 美香



あっという間の2年間でした。たくさんの方々のお世話になり、本当にありがとうございました。無事研修が終わり、ほっとすると同時に気が引き締まる思いです。今後とも精進していきます。

藤原 もも佳



平素より大変お世話になっております。この度は、無事に研修を修了することが出来、無事に初期研修医を卒業できますことを大変喜ばしく思っております。関わってくださった皆様、大変お世話になりました。

萩原 朋也



2年間大変お世話になりました。ご迷惑をおかけすることも多々あったかと存じますが、たくさんの方々に支えていただき無事に研修を終えることができました。これまでご指導いただき誠にありがとうございました。

山本 千蘭



2年間大変充実した研修をすることができました。まだまだ未熟な点も多くありますが、ここで学んだことを活かしながら、これからも引き続き精進していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

百岳 龍平



熱心に指導してくださる先生方や学習意欲の高い同期に恵まれ、たくさんの刺激をもらうことができました。当院で関わった全ての方に感謝します。今後もより成長できるようこの2年間で得た経験を糧に日々精進していきたいと思います。2年間ありがとうございました。

小谷 龍太郎





賞状名	受賞者
最優秀研修医賞	門田 優太
最優秀研修医賞	堤 春菜
基本的臨床能力評価試験　最優秀賞	百岳 龍平
OSCE最優秀賞	小谷 龍太郎
OSCE2位	小松 桃子
OSCE3位	堤 春菜
CPC皆勤賞	小松 桃子
Doctor of the Year指導医賞	永井 友基
Doctor of the Year指導医賞	忽那 史也















長崎医療センター第 52 期研修医の皆さん、研修修了おめでとうございます。
これからの 10 年間は医師として人としてステップアップしてゆく重要な時期です。
医療を取り巻く環境は大きく変わってきていますが、誠実さと熱意を持って、心のつながりを大切に、さらに研鑽を積んで下さい。 長崎医療センターでの 2 年間の経験、同期との絆を大切にこれからもがんばって下さい。先生方のご活躍を楽しみにしています。

臨床研修管理委員長　長岡 進矢

令和5年度サイバー攻撃時対応訓練を終えて

火災・災害対策検討委員会　日宇 宏之

3月9日、2度目のサイバー攻撃時対応訓練を開催しました。

今回もサイバー攻撃時の初動対応を想定し、BCPおよび各部門のマニュアルを使用する訓練を設定させて頂きました。

当院のサイバー攻撃時対応の目標は以下になります。

① 人命救助を最大限優先すること
② 寸断なく可能な医療提供を行うこと
③ 地域の医療提供の核として病院機能の早期復旧
④ 職員の心と体の健康を守る

これらの目標達成には、まずは被害を最小限にすることが重要です。

そのためには、シャットダウンコールに従い、速やかに電子カルテシステムに接続しているパソコンの電源



を切り、LANケーブルを抜いてください（ただし、今後は新しいシステムの導入などで変わる可能性はあります）。

今回の訓練の振り返りとして、多くの意見を頂きました。最も多かったのは、紙カルテ運用に関することでした。意見を参考にし、各部門などに御協力頂き、より使いやすいものへバージョンアップできたらと考えています。『備えあれば憂いなし』だと思いますので、引き続き、御協力宜しくお願い致します。

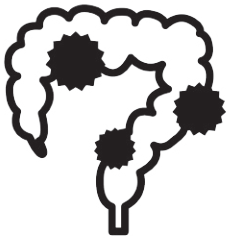
人生100年時代の

予防医療

～あなたらしく生き抜くために～

第6回　大腸がん検診

総合診療科　森 隆浩



今回は、日本人がん罹患率で第1位の大腸がんの予防医療についてです。

1　大腸がん検診

日本人男性の10人に1人・女性の13人に1人が罹患しています。検診のスクリーニングは、無症状の人の40歳以上で便潜血を二日間提出するだけです。

1回では感度73%、2回になると感度86%まで上昇します。

2回の提出は提出日の4日前から採取開始して冷蔵庫で保管しましょう（摂取パターンは図1）

陽性になれば大腸内視鏡検査で早期発見早期治療のチャンスです。大腸がんは早期発見早期治療で95%の人が治ります。

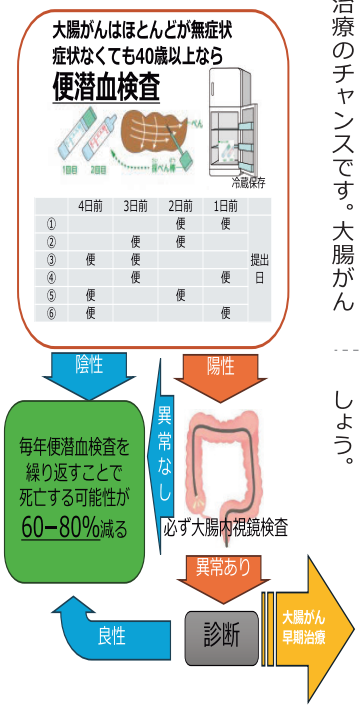


図1

2　大腸がんのリスク因子と抑制因子

①回避ができないリスク
大腸がんの家族歴（一親等以内）

②回避可能な日常的なリスク
肥満・糖尿病・加工肉・アルコール

③大腸がん抑制因子
日常的な運動と食習慣（食物繊維、葉酸、乳製品カルシウム等の積極的な摂取）

日常生活にも気をつけながら毎年の検診を受けることで大腸がんを予防しましょう。

TOPICS

医師人事異動（転出）

医療職（一）医師

外科医長	杉山 望
小児科医長	安 忠輝
呼吸器外科医長	朝重 耕一
泌尿器科医長	岩田 隆寿
形成外科医長	福井 季代子
外科医師	笠 伸大郎
整形外科医師	大場 陽介
整形外科医師	花谷 拓哉
脳神経外科医師	内田 大貴
内科医師	最勝寺 佑介
内分泌・代謝内科医師	明島 淳也
脳神経内科医師	忽那 史也
呼吸器内科医師	瀬戸口 大地
呼吸器内科医師	峯 慧輔
消化器内科医師	三根 祥一郎
精神科医師	倉田 青弥
耳鼻咽喉科医師	森 彩加
耳鼻咽喉科医師	二宮 直樹
麻酔科医師	濵田 梢
麻酔科医師	西垣 明久
放射線科医師	大塚 哲洋

医療職（一）レジデント・専攻医

外科レジデント	織方 良介
形成外科レジデント	出光 茉莉江
産婦人科専攻医	藤本 拓也
救命科専攻医	安倍 翔
泌尿器科レジデント	柿田 聖太
内科専攻医	森 民生
内科専攻医	安田 淳
内科専攻医	山中 萌奈美
呼吸器内科専攻医	平野 優大
腎臓内科レジデント	荒木 慎平
内分泌・代謝内科レジデント	柿田 実紀
肝臓内科レジデント	綿屋 摩湖人
消化器内科レジデント	小出 明妃
精神科レジデント	志方 有莉
小児科専攻医	白石 亮
小児科専攻医	髙橋 克仁
小児科専攻医	鳴尾 聡一郎
小児科専攻医	山口 倫人



院内さるく

Vol.14 栄養管理室

栄養管理室は、ご入院中の患者さんの食事提供と診療、治療の支援として栄養管理計画、栄養サポートを行っている部門です。
食事については、治療としてだけでなく入院中の楽しみとなるように病院栄養士7名が委託スタッフ50名と献立会議で話し合いながら病態、症状に対応するとともに季節や行事食も取り入れた献立を作成し提供しています。



ガーデニング便り Vol.12

今回紹介するのは、ハナニラです。植えっぱなし、ほったらかしでも花咲く強靭な球根植物です。雑草魂の持ち主ですが、咲かせる花は星型で小さく可憐です。名前のように葉からニラの香りがします。

副院長　黒木 保



外来診療担当医一覧表

受付時間　8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応）令和6年4月1日現在

	月	火	水	木	金
総合診療科	当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科	★長岡　進矢 ★末廣　智之 ★松本　耕輔 山﨑　一美	★佐伯　哲 ★末廣　智之 ★釘山　有希	★小森　敦正 ★山﨑　一美 八橋　弘	★長岡　進矢 ★本吉　康英 ★小森　敦正	★本吉　康英 ★釘山　有希
消化管内科	★西山　仁	★後藤　高介 ★峯　彩子	午前　★西山　仁 午後　★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患 専門外来）		★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患　専門外来） ★今村　祥子
内分泌・代謝内科	★安井　順一 ★片岡　こころ 山﨑　悠介	★山﨑　悠介 安井　順一 片岡　こころ	★安井　順一 山﨑　悠介	★山﨑　悠介 安井　順一	
腎臓内科	★岡　哲 山下　由恵		★伊達　雅浩 岡　哲	山下　由恵	★山下　由恵 伊達　雅浩
循環器内科 午前	★於久　幸治	★福田　侑甫	★森　彩	★松尾　崇史 ★石松　卓（不整脈）	★深江　貴芸
循環器内科 午後	★鶴川　晃二郎	★石松　卓（不整脈） ★福田　侑甫	於久　幸治	石松　卓（不整脈）	
呼吸器内科	★原　敦子 池田　喬哉	★末原　照大	近藤　晃 ★池田　喬哉	★乗富　大地	★近藤　晃 原　敦子
血液内科	午前　小林　裕児 午後　★榊　智佳	★今泉　芳孝	吉田　真一郎	午前　今泉　芳孝 午後　★小林　裕児	午前　吉田　真一郎 午後　★西村　紗央里
脳神経内科（神経内科）	足利　裕哉 佐藤　和明	★岩永　洋	★徳田　昌紘		★岩永　洋 徳田　昌紘
膠原病・リウマチ内科	★岡田　覚丈		★岩永　希	★岩永　希	午後　★岡田　覚丈
小児科 午前	★本田　涼子（神経） ★山田　洸夢（第2・3・4）（心臓・一般） ★西口　奈菜子（神経・一般） 桑原　義典（第1）（心臓）	★本村　秀樹（心臓） ★石橋　洋子（一般・心臓） ★濱口　陽（新生児・乳児） ★石橋　信弘（心臓・一般） 田中　茂樹（神経）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★和泉　啓（内分泌） ★山田　洸夢（心臓・一般）	★西口　亮（第1・3・5）（新生児・乳児） ★石橋　洋子（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） 池田　憲呼（神経・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★石橋　信弘（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） 本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）
小児科 午後	★小児外科（第3週） 本村　秀樹（心臓） 発達外来	★本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
皮膚科 ①外来紹介・新患	★石川　博士	★里見　直義	★石川　博士	★里見　直義	
皮膚科 ②旧患	里見　直義	石川　博士		石川　博士	里見　直義
皮膚科 ③入院中の紹介	中牟田　瑠璃		里見　直義		石川　博士
外科	★黒木　保（胆・膵） 釘山　統太 （胆・膵・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★福井　彩恵子（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★北里　周（肝・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★竹下　浩明 （大腸・肛門・一般外科） 藤岡　ひかる （肝・胆・膵・消化器）
呼吸器外科			★田川　努 ★松本　理宗		
心臓血管外科			★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志		★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志
脳神経外科	★小野　智憲 ★原口　渉	★案田　岳夫	★定方　英作	午後　原口　渉	★小野　智憲 ★吉田　道春
整形外科・リハビリテーション科	★宮本　俊之 山口　圭太	伊藤　勇人（★第1・3・5）（再 第2・4） 梅木　雅史（★第2・4）（再 第1・3・5）	★下永吉　洋平 熊谷　謙治	★伊藤　勇人 向井　順哉	★森　圭介 向井　順哉（第1・3・5） 山口　圭太（第2・4）
形成外科	★藤岡　正樹 ★西園　馨子	★古賀　一史 ★日吉　尚	★藤原　洸平	★藤岡　正樹 ★日吉尚 / 西園馨子	★藤原　洸平 ★古賀　一史
産婦人科	★古賀　恵 ★福田　雅史	★安日　一郎 ★山下　洋	★菅　幸恵 ★杉見　創 産褥1ヶ月検診（午後）	★五十川　智司 ★山口　純子	★福田　雅史 ★小川　真幸
泌尿器科	★大仁田　亨 錦戸　雅春	松屋　福蔵	★錦戸　雅春	★鹿子木　桂	★大仁田　亨 ★松島　俊樹
移植後フォローアップ外来	錦戸　雅春	松屋　福蔵	錦戸　雅春		大仁田　亨
耳鼻咽喉科	★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★諸富　幸	★松井　彰子	★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★諸富　幸	★吉田　晴郎	★田中　藤信 ★松井　彰子
眼科	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★大槻　早紀 ★斉藤　淳哉	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★大槻　早紀 ★斉藤　淳哉	午後　中尾　志郎	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★大槻　早紀 ★斉藤　淳哉	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★大槻　早紀 ★斉藤　淳哉
放射線科（治療）		★中村　太祐 ★武田　達哉			★中村　太祐 ★武田　達哉

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として7,700円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（7,700円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- 救急医療の最後の砦となる
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する

長崎医療センター NEWS
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/
VOL.422